

(別紙様式1)

## 令和 元年度の目標及びその達成に向けた活動計画

都道府県名： 和歌山県  
農業委員会名： 広川町農業委員会

### I 農業委員会の状況(平成31年4月1日現在)

#### 1 農家・農地等の概要

	農家数(戸)
総農家数	466
自給的農家数	116
販売農家数	350
主業農家数	169
準主業農家数	62
副業的農家数	119

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	農業者数(人)
農業就業者数	774
女性	393
40代以下	154

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	経営数(経営)
認定農業者	58
基本構想水準到達者	66
認定新規就農者	
農業参入法人	3
集落営農経営	
特定農業団体	
集落営農組織	

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑	畑			計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	145	522				667
経営耕地面積	84	439	19	419		524
遊休農地面積	11	20	18	2		31
農地台帳面積	139	541	408	133		679

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入

※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

#### 2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 29年 7月 19日

	選挙委員		選任委員				合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦	
農業委員数	12	11	1	1	1	4	7
認定農業者	—	4	1	1			2
女性	—					2	2
40代以下	—						

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 R 2年 7月 19日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	9	9
認定農業者	—	5
認定農業者に準ずる者	—	
女性	—	1
40代以下	—	1
中立委員	—	1

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員	7	7	39

\*現在の体制を記載することとし、旧・新しいいずれかの記載事項は削除

## II 担い手への農地の利用集積・集約化

### 1 現状及び課題

現 状 (平成31年3月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	667ha	53.8ha	8.06%
課 題	農業従事者の高齢化や担い手不足など農家人口が減少するなか、面積を増やせない農家が多い		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、把握時点において担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

### 2 令和 元年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積	55.0ha	(うち新規集積面積	1.2 ha)
	目標設定の考え方:担い手への利用集積を推進する。			
活動計画	年間を通じて、貸し手、借り手の意向など、情報収集や情報提供を推進する。			

※1 集積面積は、当該年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※2 新規集積面積は、集積面積のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転させた農地)をどの程度増加させるかを記入

※3 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

## III 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

### 1 現状及び課題

新規参入の状況	28年度新規参入者数	29年度新規参入者数	30年度新規参入者数
	1経営体	0経営体	0経営体
	28年度新規参入者が取得した農地面積	29年度新規参入者が取得した農地面積	30年度新規参入者が取得した農地面積
	0.7ha	0ha	0ha
課 題	他産業からリタイヤされた方、及びこれから新規就農をしようとしている方に営農技術の取得が必要		

※1 新規参入者数は、過去3年の農地の権利移動を伴う各年度ごとの新たな新規参入数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない(欄の最も右が昨年度)

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

### 2 令和 元年度の目標及び活動計画

参入目標数	1経営体	参入目標面積	1ha
活動計画	JA及び農業委員会が中心となり、農家の意向を見据え、担い手への利用集積に結び付ける。		

※1 目標は、1年間に新たに参入させる新規参入者数及び参入目標面積を記入

※2 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

## IV 遊休農地に関する措置

### 1 現状及び課題

現 状 (平成31年3月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	698ha	31ha	4.40%
課 題	農業者の高齢化と後継者不足により、遊休農地が増える恐れがあるため、担い手等の確保が必要		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

### 2 令和 元年度の目標及び活動計画

目 標	遊休農地の解消面積 1ha		
	目標設定の考え方:年間の解消可能と見込まれる面積		
活 動 計 画	農地の利用状況調査	調査員数(実数)	調査実施時期
		16人	7月～10月
	農地の利用意向調査	調査方法	調査結果取りまとめ時期
		地図データを基に現地調査を実施	10月～11月
その他	実施時期	調査結果取りまとめ時期	
	11月～12月	1月～2月	

※1 遊休農地の解消面積は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

※2 遊休農地の解消面積は、市町村等が策定した目標を農業委員会が共有している場合には、当該市町村等の目標を記入しても差し支えない

※3 「その他」欄には、利用状況調査・意向調査以外の遊休農地解消のための活動を記入

## V 違反転用への適正な対応

### 1 現状及び課題

現 状 (平成31年3月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	667ha	0ha
課 題	違反転用者には指導を行い、追認許可を促す	

※ 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、把握時点において管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

### 2 令和 元年度の活動計画

活動計画	関係機関との連携を図りながら、日常的にパトロール等を行い違反転用を防止する。
------	----------------------------------------

※ 活動計画は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入